

## 2024 年度大学院入試説明会 (第 1 回: 2023 年 4 月 22 日実施) Q&A

### 【入試全般】

Q1 試験会場はどこですか？

A1 本郷キャンパス内を予定しています。受験票とともに送付される受験者心得を良く確認してください。

### 【入試説明会について】

Q2 第 1 回の説明会(第一部および第二部)の内容を見返したいのですが、録画は公開される予定でしょうか。

A2 説明会の参加登録者には、登録メールアドレス宛に第一部と第二部の録画の情報を送付します。それ以外の方は、氏名と所属（または出身大学）を記載して生物科学専攻教務課（gakumu-bs.s[at]gs.mail.u-tokyo.ac.jp）までお問い合わせください。

Q3 6月の第2回説明会は、第1回とは異なる内容でしょうか。

A3 説明会の内容は異なります。第2回説明会は募集要項公開後に開催されるため、出願や入試について詳細を説明します。PI との面談会は第2回説明会でも実施します。

Q4 6月の第2回説明会に出席できないのですが、出願には問題ないですか？

A4 問題ありません。参加登録者には録画を提供する予定です。第2回説明会の詳細は、専攻ホームページに後日掲載します。

Q5 入試説明会でのPI面談に参加できませんでした。PIの先生に個人的にメールで面談を申し込んでも良いでしょうか。

A5 はい、まずは志望教員にメールで連絡をとってみてください。

### 【出願について】

Q6 出願できるのは生物科学専攻のうち1つの研究室のみでしょうか？それとも、複数の研究室に出願できるのでしょうか？

指導教員の希望は第何希望まで提出しますか。

A6 生物科学専攻の研究室を 3 つまで志望することができます。詳しくは理学系研究科ウェブサイト指定された出願システムを参照してください。

Q7 第一希望以外の教員に連絡する必要はありますか。

A7 はい、第 1 希望以外の教員にも、第 2 希望または第 3 希望として出願する予定である旨をお伝えください。

Q8 理学系研究科の他専攻を同時に併願することはできますか。

A8 理学系研究科内の複数の専攻へ同時に併願することはできません。いずれか 1 つの専攻を選んでいただく必要があります。

Q9 希望する研究室は理学系研究科と別の研究科の両方に所属しています。その場合はどこに出願すれば良いでしょうか。

A9 本専攻は他大学院への出願を妨げません。併願を希望する場合は、希望指導教員または併願先の大学院にお問い合わせください。

Q10 指導教員は研究室概要の大学院担当教員一覧に書かれている先生でしょうか？教授(PI)が学生受け入れ不可の研究室において、准教授や講師の方を指導教員として志望を提出することは可能でしょうか。

A10 指導教員は募集要項で確認してください。不明な場合には、教員に直接お問い合わせください。参考までに、研究室概要は下記のリンクから見ることができます。

<https://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/content/files/gaiyou/%E7%A0%94%E7%A9%B6%E5%AE%A4%E6%A6%82%E8%A6%812023.pdf>

Q11 4 年制大学を 3.5 年で早期卒業することを予定していますが、出願資格がありますか。

A11 はい、出願資格があります。ただし出願時に卒業見込証明書などをご提出いただく場合があります。

Q12 他の大学を 2023 年 9 月に卒業する場合、または既に大学を卒業している場合、

2024 年度入試に合格して 2023 年の秋入学することは可能でしょうか？

A12 令和 6（2024）年度入試に合格しても 2023 年の 10 月に入学することはできません。

#### 【筆記試験（専門科目）について】

Q13 出題範囲として具体的な教科書名やページ範囲なども公開されているケースがありますが理学系研究科ではそれは公開されないという認識でよろしいですか？

A13 募集要項を参照してください。参考のために、専攻 HP に過去の修士課程の入試問題を掲載しています。

<http://www.bs.s.u-tokyo.ac.jp/admission/9.html>

#### 【外国語試験（英語）について】

Q14 TOEFL を複数回受験した場合、どのように扱われますか。

A14 Test Taker Score Report は出願システムを通じて 1 通のみ提出していただきますので、その結果を採用することになります。Official Score Reports については、ETS にスコアの送付を複数回依頼していただいても構いません。

Q15 TOEFL はいつ頃までに受験すればよいのでしょうか。

出願期間中に TOEFL のスコアを提出する必要がありますか。

A15 Test Taker Score Report を 8 月 11 日（金）までに提出し、かつ、Official Score Reports 送付を 8 月 13 日（日）までに依頼する必要があります。（募集要項ではアップロード期間を 8 月 9 日（水）までとしていますが、実際には 8 月 11 日（金）まで受取期間を延長します。）従いまして、これに間に合うよう受験してください。6 月 27 日までの出願期間内にスコアを提出する必要はありません。ただし Test Taker Score Report の発行までに受験日から一定期間かかりますのでご注意ください。また TOEFL のスコアには有効期間がありますので、2021 年 9 月 1 日以降に受験した際のスコアが必要です。

Q16 TOEFL の会場受験と Home Edition で点数の扱いに違いはありますか？

A16 点数は同じものとして扱われます。ただし、Home Edition に伴うトラブルを避けるため、会場受験の方を強く推奨します。

Q17 Official Score Reports の送付依頼の際、Designated Institution (DI) Code には B380 を入力することとありますが、Department code には何を入力すればよいですか。

A17 Department code は特に指定されていませんので、どのコードを選んでも問題ありません。

#### 【口述（面接）試験について】

Q18 口述試験は日本語でしょうか。英語も含まれるのでしょうか。

A18 口述（面接）試験は日本語で実施します。

#### 【その他】

Q19 合否の基準は、完全にテストの点数のみなののでしょうか。筆記試験は英語と生物学がありますが、得点の比率はどの程度でしょうか。合格者の専門科目、TOEFL の得点率はどのくらいでしょうか。入試の点数の高い人の第二希望と、入試の点数の低い人の第一希望、どちらが優先されるのでしょうか（第一希望が優先されるのか、点数が高い人が優先されるのか）。

A19 合否の判定についてはお答えできません。入試の実施方法は募集要項を参照してください。

Q20 合格後の研究室配属はどのように行われるのでしょうか？

A20 研究室配属の詳細についてはお答えできません。募集要項を参照してください。

Q21 選考時に、連絡をとった研究室からの印象などは含まれますか？例えば、早く連絡をとった方が有利になるなどといったことはあるのでしょうか？

A21 出願前に必ず第一希望の指導教員に連絡を取り、相談して下さい。そして出願する際には第一希望として出願する意思を伝えて下さい。合否の判定についてはお答えできませんが、一般に、早く相談したほうが有利ということはありません。

Q22 生物科学専攻を受験し、合格した場合は、他の大学院専攻の研究室に進学するために進学を辞退することは可能なのでしょうか。それとも合格した場合には必ず進

学しなければならないのでしょうか。

A22 本専攻への進学を辞退することは可能です。

Q23 文系(文学部等)出身者の割合はどの程度ですか。

A23 例年数名の応募があり、合格者も出ています。

Q24 外国人学生は大学院入試を受験するにあたってどのような準備が必要ですか。

日本語で示された問題に英語で回答してもよいですか。

A24 入試は基本的に日本語で行われます。日本語での読み書きや質疑応答ができるように準備を進めてください。

Q25 研究室の定員はどこに記載されていますか。

A25 専攻では把握していません。各研究室にお問い合わせください。

Q26 2025 年度入試を受験する予定なのですが（現在 3 年生）、研究室訪問は何月以降がよいとありますか？ 2024 年度入試が終わってからのほうがよいのでしょうか？

A26 研究室訪問についてのルールはありません。希望する指導教員に連絡してみてください。